

勢陽五鈴遺響

飯野郡
飯高郡

二十五

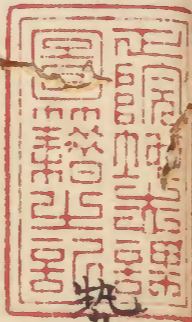
和書門
二九〇一九
函號類
架
冊

内閣文庫
和書類
二九〇一九
函號類
架
冊

内閣文庫
番號和 29019
冊數 40 (25)
函號 172 310

内一〇七二五號





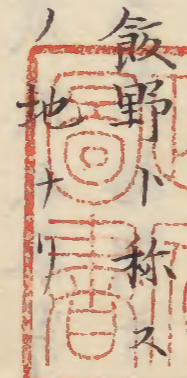
勢陽五鈴遺響飯野郡

全

内一〇七二五號

飯野郡

一郡



名義曰飯高郡隸

倭姬命世紀神服機殿條曰

倭姬命入座飯野高丘宮尔作之機屋令織大神

之御服又曰難波長柄豐崎宮德乃御宇丙午

年竹連碓部直二氏建此郡云云既飯野ノ名

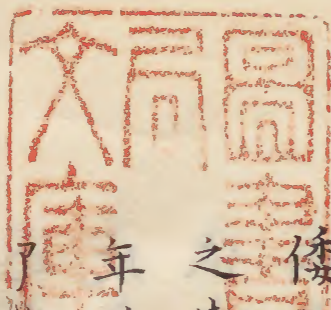
了然レ氏称徳天皇ノ朝神護景雲二年称宜

五月麻呂所撰ニ後飯野ノ名ヲ填ルナリ

延曆儀式帳云大津朝廷智甲子年多氣郡四

箇郡割立飯野高宮村屯倉為公郡ト載レハ

飯高飯野多氣度會ノ四郡ヨリ割分テ所置ニ



似り或ハ飯野多氣度會ノ三郡ヲ指メ道後ノ
郡凡稱ス三重郡ヲ道前ト謂フニ對セリ又
飯郡凡上世ハ旧典ニ載ス神宮雜例集曰飯郡
新神戸宇多天皇仁和五年三月十三日勅ス一代
之間奉寄寛平九年九月十一日符奉永寄大
政官符 應以伊勢國飯郡寄大神宮事 右郡
依去仁和五年三月三日勅一代之間奉彼宮大
納言正三位兼左近衛大將藤原朝臣時平且奉
勅自今以後永奉寄仍預宮物舍等之類准弘仁
八年十二月格到符行 寛平九年九月十一日
度會郡四百四十七烟多氣郡三百十五烟飯郡
二百十烟以上謂之神三郡又云道後世本多ハ

飯野ニ作ル後々ノ誤リ加ナリ飯野ハ今誓ル
ニ飯高ニ准ム偏ニ飯ノ郡ナリ野ハ助語ニシ
阿濃今安濃ト轉スニ異ニメ平坦曠野ノ意ニ
ハ非ス然レハ前ノ勅制ノ如ク二字ニ填ニカ
為ナリ上世ハ約メ飯郡凡稱ス事煥然ナリ或
云古事紀云長田別王之子材股長日子王此王
之子飯野真黑比賣命云云即長田別王ハ日本
武尊ノ兒ナリ其女飯野比賣命ハ日本武ノ孫
ニメ本州ニ因アリ故ニ此神ノ所知スル地ニ
メ飯野ノ名起ルナルヘシ愚按スルニ旧ト飯
高飯野一郡ニメ天智天皇即位三年ニ分割テ
所置ニ批レハ其前ニ飯野ノ郡名亡シ飯野比

賣ハ飯高郡ニ辨ス如ク飯ヲ崇重メ神名ニ称
ス処ナレハ本郡ノ名ニ因ナシ鑿說ナリ從
唯シ飯野ニ飯高ヨリ分置スル処ニシテ飯野
ノ名起レリ別ニ義ナシトイフヘシ本郡受
領ハ續日本紀云孝謙天皇天平勝室四年九月
辛巳伊勢因飯野郡人飯麻呂等十七人賜秦部
姓三代實錄第四十四元慶七年冬十月廿五
日甲戌伊勢因飯野郡神戶百姓秦貞成向官愁
訴大神宮司大中臣貞世犯用神物並不理多氣
郡擬大領麻績連公豊世故殺人事大政官擬遣
使者推問事由左大史九部百世檢故實伊勢大
神宮司有犯過之時不遣推問使下符因司令其

推擯於是停遣使付伊勢因事推察真偽神鳳
抄云飯野郡二段並宮御筭作内人徳成芳同
所載有名未識封戸内官不世止御園一斗九
月同羽祢御園二斗九十二月同長倉御園一
石号越勝寺九斗九并六九十二月同古河御
園五斗同棋子御園一斗九月同石河御園
三斗同入江御園七升九月一堺御園一斗
山田御園三斗平内御園内未松一斗外
宮鞆出御園四丁二斗同佐福御園二斗葛
薄御園峯林御園外宮八田御園口戸御
厨英胡御園内宮大西御園真奈胡御厨
上河御園世余町黒田平田牧而御厨鴨田

御厨 負田御厨 古瀬御厨 外宮神領目錄
所載未識神封 鞭出御園六九十二一斗ツ、
小鞭出御園三斗 佐福御厨九斗内六九十二
三斗ツ、 二升御園十二月一斗 堺御園神
税麥三斗此口入料麥三斗忌部神税麥三斗
神宮雜例集云司苜飯野郡司可早任先例進上
大神宮御迂宮祈天平賀造進坑祭物支歟一口
鋤一口鎌一柄木綿一斤木柴垣四丁麻一斤用
紙一束鉄二廷清酒五升醴一斗散供米一斗綾
六尺絹二足信濃布一端調絹一足綿一切白布
一端燒木世駄役專當一人右件祭物等任先例
早可進上之状不存如件宜兼知不可達失以苜

大司大中臣朝臣在判稚大司大中臣少司大中
臣 仁安四年四月日 和名類聚鈔第六 飯
野郡 乳熊知久未 兄國江久 黒田 長田奈加
多 漕代古以 神戸 元十六郷ナリ 今詳
ニスルニ 乳熊轉ノ中万ト称セリ兄国ハ兄国
アリ黒田今轉ノ黒部ナリ長田後世流田ト轉
シ今ノ清水ナリ 漕代ハ未詳今摺ルニ 佐久目
ノ隣北ニ古井アリ漕代ノ轉畧ナルヘシ神戸
ハ山添アリ太神ノ迂幸ノ地ニメ神戸ノ称明
ナリ 古屋草紙柳田郷ヲ加ヘテ神戸郷ナリ
非ナリ柳田郷ハ後世私称スル処ナリ東鑑ニ
載夕リ上世ノ郷名ニ非ス伊勢名所拾遺ハ長

田神戸ノ二郷ヲ脱セリ各妄ナリ 本郡ノ疆
 城ハ東ハ東海ヲ限リ西ハ飯高郡界ヲ限リ南
 ハ多氣郡界ヲ限レリ北ハ一志郡界ヲ限レリ
 東西三里南北一里
 村邑 文祿三年檢地 三十四邑
 正保二年 三十九村
 明曆中雜記所載 四十一邑
 元祿十三年 四十二邑
 今計四十邑小邑十二邑合五十二村
 正税高
 文祿三年檢地 二万三千三百四十四石二
 斗七升

雜記所載 二万三千三百二十八石九斗六
 升七合
 内 一万五千六百廿四石七斗五升一合 田方
 七千七百四石二斗一升六合 畑方
 外 四十九石四斗一升九合 新田
 元祿十三年 二万三千四百五石二斗五升
 四合

御麻生園 本郡ノ西ノ極界多氣及飯高郡界ニ
 アリ 正税五百十四石志摩州鳥羽領ナリ
 屬邑出屋敷 本邑ノ北ニアリ和名抄乳熊郷
 屬ス 倭姫命世紀曰活目入彦五十狹弟天

皇十八年己酉四月十六日遷座阿佐加藤方片
榎宮積年歷四箇年奉存中畧然度坐時阿佐加
縣尔多氣連等祖宇賀彦子吉志姬次吉志彦二
人參相奉支何者問給久汝等我阿佐留物者何
止問給支荅白支皇大神乃御贄乃林奉止伎佐
志平阿佐留止白支尔時白事恐止詔而其伎佐
志平令進大神御贄而佐々牟乃本杉乎割取而
生比伎尔宇氣比伎世良禮給時尔其火乎伎俚
出而糸女忌姬我作志天平瓮八十枚乎持而伊
波比戶尔仕奉支尔時吉志姬尔地口御田並麻
園乎進二十二年癸丑冬十二月廿八日遷飯野
高宮奉齋四箇年云云一度會清左曰麻園ハ射

和邑ノ隣郷御麻生園是ナリ今詳ニスルニ御
ノ字ヲ冠タルニテ貢獻ノ麻園ナルヲ煥ナリ
古屋草紙云今ニ内宮ニ麻等ヲ獻ストイヘリ
然レハ神鳳抄ニ麻園ノ地ナレ後世其地名ノ
旧キノ遺失ノ御麻生園ハ俗稱スルニヤ今御
園ノ誓ヘキ名ナレ麻ヲ貢獻スルニ二義アリ
旧事紀云令麻續祖長白羽神種麻以為青和幣
復令津姫見神種迫穀以作白和幣諸祭ノ料ニ
所用ナリ又倭姫命世紀曰神服機殿因立神社
於其地曰名服織社号麻統郷者郡北在神此奉
大官神荒妙衣麻統氏人等則居此邑ト載ル
批テ諸祭ノ幣料ニ非ス荒妙御衣ヲ織ル料ニ

献リタルナルヘシ麻統ノ訓ニ麻苧ヲ紡績ス
ルノ謂ナリ勢陽俚諺曰紀師神社條機殿儀
式帳云畧文全篇ハ麻統ノ糸ニ如シナルハ
此处长田ノ郷岸邑ナルヘシ此処ニ社ヲ建テ
麻統社ト号又河崎社ト名ケタリト是隣邑ノ
御麻園ナルヘシ此村各御園御厨ノ外号スヘ
キ謂ナシ然レモ此辺ニ長田郷ト可称拠ナシ
愚案郷庄共ニ一ナリ阿彼曾村庄邑御麻園村
ト並ヘリ此庄村長田郷ニモ長田ノ庄ト唱ヘ
上ノ二字ヲ省テ庄村ト名ツケ来ルナラニ此
処川俣川筋ニモ岸川崎皆縁アル名ナリ飯野
郡ニモ長田トイフヘキハ朝田辺ナレモ右二

社ノ在スヘキ地ナシ此処飯野高宮ニ在セシ
片ノ機殿ノ古蹟ナルヲ決セリ又麻統神社ヲ
井口村ノ服部麻刀方神社相殿ナリトイヘリ
此麻刀方神社ハ御麻生園ナルヘシ又麻統社
ヲ御麻生園トシ麻刀方ヲ井口村トスヘキヤ
後賢ノ考ヲマツ今詳ニスルニ紀師神社ヲ
飯野高宮ノ機殿ノ後ニ遷セル地トスルハ迹
シ御麻生園ハ麻續神社ノ地ニハ非ス長田郷
ハ和名類聚所載ニモ後世ノ流田郷ニモ今ノ
朝田ナリ其故ハ于後機殿遷岸村ノ文ニ拠テ
考ヘシ然レ岸村ハ阿波曾ノ旧名モイフヘキ
ナリ紀師神社ヲ奉祀スルニ似リ又後醍醐天

皇ノ朝ニ官軍愛曾氏アリ上世ハ岸村ニシテ
後ニ愛曾或ハ河波曾ト今轉訛セシモノナリ
ト憶ヘリ猶上件ノ麻統神社一名河崎社ハ御
麻生園ニアラス各條ニ論セリ或云紀師神
社ニ一ノ疑惑アリ愛曾因政裔孫伊勢守ハ紀
氏ニテ武内宿称ノ後裔ナリ紀師ハ岸村ノ謂
ニ非スノ紀師ノ祖ヲ祭ル也ト云妄ナリ因
政ハ伊勢守カ遠祖トイヘ凡垂水廣舒同前ノ
時ナリ然ルニ建武以前ノ延喜ノ格式ニ紀氏
ノ假音ニテ紀師神社タル謂ナシ荒唐ナリ嗤
ヘレ前ニ論スル如ク建武年中ノ間ヨリ愛曾
ト称シタルハ後ニ愛曾氏ノ居ルニ拠ノ名

ナリ多氣窗虫ニ因政ノ名ヲ記シ又大平記ニ
伊勢守ノヲヲ載タリ彼ノ廣信諫筆録ヲ著シ
垂水ニ退ク重テ召ルニ及テ蛸路村ニ退ク
今ニ子孫アリト古屋草紙及俚諺ニ引徵セリ
今本郡蛸路ニ垂水吉兵衛某アリ累代津領ノ
郷士ナリ此垂水氏ヲ奉ルトイヘ凡恐クハ愛
曾氏ノ後裔ニテ本郡愛曾モ蛸路モ近キ塚地
ナリ後ニ蛸路ニ轉居セシナルヘシ曰シク後
裔ト称スニ鑄匠アリ天命ト名ク垂水文次郎
某産業トノ飯高郡馭部田ノ林丘ノ間ニ鑄室
ヲ造リテ鑄ル下野州佐野ノ天命氏ト曰姓ナ
リト云ヘリ又近世常保善四郎某ト云鑄匠ア

リ次ニ産業トス

庄村 御麻生園十三町十三間東ニアリ 正税

七百三十九石志州鳥羽領ナリ度會郡曰名ア

リ乳熊郷ニ属ス 古塚アリ石窓ナリ高一丈

滴六尺許長七歩許其故知難シ

阿波曾 庄村ノ九町東ニアリ旧名岸村或ハ愛

曾ト称ス今訓ヲ轉メ阿波曾ト訛レリ 正税

五百六十九石志摩州鳥羽領ナリ乳熊郷ニ属

ス

式内紀師神社 同処川俣川ノ崖ニアリ方俗河

原宮ト称ス又中ノ宮ト云 祭神麻績屋比賣

命 射和村伊佐和社ヨリ西廿五町

水尾山薬師寺 同処ニアリ天台宗 本尊茶師

如来 岡山行基大士此刹ニ年ヲ歴テ住ノ本

尊ヲ彫シ其験ヲ遺ス寺僧アリ

子賣岩 同処河俣川ノ崖ニアリ不動岩或ハ子

賣岩ト俗称ス俚民ノ傳ニ子ヲ育スルニ生産

メ七日ノ間ニ其兒ヲ懐テ此岩下ニ到リ阿波

曾ノ土人ノ始ニ来往スル者ヲ招テ幼名ヲ名

ケサセ即名ツケ親ト称シ酒魚及鮓等ヲ贈リ

テ来往ノ人ニモ進メ喫セシメテ家ニ帰レハ

其兒長生ヲウルト云習俗アリ幼名ハ男名ニ

不限各岩ノ字ヲ冠シメテ名クナリ

伊東山西弘寺 同処ニアリ東本願寺弘専念宗

ナリ飯高郡諸未寺ノ中山ナリ 本尊阿弥陀佛

射和 阿波曾ノ東ニアリ河俣川ノ水厓ニ民居

ス近邑ノ豪富ナル所ナリ方俗市鄺ノ如ク称

ス 乳熊郷ニ属ス 邑里ノ長六十三間アリ

射和ノ名義ハ伊佐和旧ト伊射和トモ書ス

射ハ阿射加ノ今阿坂ト云ニ旧例ニシテ伊佐

和神社ノ旧名ニヨリ或ハ伊射和ヲ上畧シテ

今射和ニ填ルナリ 民家五百戸

式内伊佐和神社 同処裏町ト云ニアリ 祭神

未詳

首楞山蓮生寺 同処ニアリ 天台律宗 開山

真盛上人本州創建三箇ノ弟ニシメ安濃津西

來寺 成願寺ト曰時ノ建營ナリ

伊馥寺 同処ニアリ浄土宗 本尊阿弥陀佛

射和寺 同処ニアリ真言宗 本尊茶師佛

延命寺 同処ニアリ浄土宗 本尊阿弥陀佛

相傳往昔多氣田司北畠家ノ祈願所ナリ又北

畠信雄ノ寄附状ヲ藏ス表襍メ今ニ存セリ其

文曰

以四月指郷之内永樂五拾貫文令寄附畢永
代可為寺勢者也

天正拾一年拾月 信雄印

延命寺

華押ナシ印ハ朱ナリ十月ノ拾ニ此ノ字ヲ録
スハ奇珍ナリ年号ノ拾ハ往々旧案ニ見ル処
ナリ

本宗寺 同処ニアリ東本願寺派専念宗ナリ旧
名信樂寺ト称ス今更テ土呂御堂本宗寺ト號
ス三洲渥美郡土呂ノ地ノ廢跡ヲ此ニ移シ寺
号ヲ轉シタルナリ 村民輕粉ヲ燒テ四方ニ
鬻アリ多氣郡四足田ニテホウヅキト云土器
ヲ製ス粉ヲ燒製ス具ナリ合ヒ玉ハ畿内ヨリ
運來テ其上ヲ和メ製スルナリ旧ト丹生ニ水
銀ヲ往昔堀出セシテアリ其遺製ナルヘレ旧
キヨリ伊勢カシロヒノ名ハ京俗モ称セリ本

州ノ産貨トスヘレ元祿年中ノ俳諧ノ地産ヲ
記セシ毛吹草ト云ニモ載タリ

上蛸路 射和ノ北ニアリ乳熊郷ニ屬ス林丘ニ
傍テ民居ス正税 津領ナリ

屬邑大上 本邑ノ北ニアリ 楠林 本邑ノ
巽位ニアリ 菽尾 本邑ノ南ニアリ旧名蛸

道又蛸途ト記セリ 神鳳抄云内宮蛸道大藏
山御園一石五斗 外宮神領目錄云菽尾御園

九斗
八田 上蛸路ノ巽位ニアリ 正税四百二十三

石津領ナリ 外宮神領目錄云治田御厨九斗
内六月三斗菓子九月十二月同 神鳳抄云治

田御厨九斗

下蛸路 乳熊郷ニ属ス八田ノ巽位ニアリ

正税 津領ナリ

中万 下蛸路ノ南ニアリ松坂府ヨリ巽位ニ里

正税 津領ナリ旧名乳熊 属邑上

野木邑ノ西ニアリ 神鳳抄云中万郷七十六

町七段

式内石前神社 同所上野ニアリ生土神ノ域内

五社並座セリ其左ノ祠ヲ石前神社トス祭神

未詳 兄田村大分社ヨリ乾位三十町

神生山乳熊廢寺 本邑ノ坤位ニアリ古刹ニシ

今廢メ總ニ方三間ノ觀音堂ノニ存セリ

聖徳寺 同処ニアリ聖徳太子建立寺傳云本尊

自作大神宮ニ奉納メ後此ニ遷スト云

神山一乘寺 同処山嶺ニアリ天台宗大小乘兼

学近江州坂本安樂寺未 本尊茶師佛

飯野高宮旧墟 此地ニ必セリ識者亮鑑スヘシ

猶詳ナル考アレ凡別記ニ載セテ此ニ畧ス

仁木右京大夫義長墳 一乘寺境内ニアリ 南

朝文中元年三月田司北畠顯能軍ヲ率テ仁木

義長ヲ撃リ敗純ノ此処ニ自刎メ其骸ヲ葬ス

地ナリ詳ニ安濃郡長野ノ條ニ録ス

法田 中万ノ巽位ニアリ漕代郷ニ属ス 正税

四百十石志州鳥羽領ナリ 神鳳抄土田御園

土田訓 = 垣 = 日夕 波尔トス 或波布ト轉ス 旧
名ハ土田ニメ 後世法ニ轉セシナリ

山添 中万ヨリ東ニアリ 乳無郷ニ属ス 正税

五百七石津領ナリ 山林ニ副フテ 民居スル

ノ名ナリ 旧記ニ山副ト録ス

式内神山神社 今同処 山上ニアリ 村邑ヨリ八

町石階ヲ登リテ到ル 方俗 山添大明神或神山

明神或鑄取明神 氏林ス 祭神未詳

安樂 山添ノ東ニアリ 榊田郷ニ属ス 正税百

七十石津領ナリ 安樂寺 旧名ニメ 今安樂ト略

セシナリ

安樂寺 天満宮 祠アリ 灵驗多シ

山下 安樂ノ乾位ニアリ 榊田郷ニ属ス 正税百

三十石津領ヨリ 和泉領主ノ称ヲ避テ 後世ニ

更ニ 神鳳抄云 内宮 泉御園 一斗九月

陰陽 安樂ノ東ニアリ 榊田郷ニ属ス 正税百

十八石津領ナリ

伊賀町 山下ノ良位ニアリ 官道ニ 民居ス 旅貨

茶店アリ 正税 五百三十八石津領ナリ 或

云 豊原ニ属セリトス 今賣 糕店アリ 詣人多 懋

食ス

豊原 伊賀町南官道ニ 民居ス 旅舍 貨茶店多シ

榊田郷ニ属ス 正税 四百六十八石 紀州松坂津

領入組ナリ 旅客方俗 榊田ト称メ 通名セリ 旧

ト搦田ハ五六町許北ニアリトイハ古街道
ニメ旧名ノ地ナリ故ニ本郷ト名ク豊原ハ搦
田ト一郷ニシテ後世街道ノ今ノ如クニ変スル
ニ拠テ搦田ト私称メ通スルナリ 搦田川ノ
名モ然リ

五智堂 同処民家ノ傍官道ニアリ 釈迦阿弥陀
佛大日如来阿閼佛弥勒勤仏ノ五尊ヲ安セリ是
ヲ五智ノ如来ト称ス

式内搦田槻本神社 同処ヨリ二丁北裏ニアリ
方俗御搦社ト称ス 祭神未詳

搦田 豊原ノ東六町許ニアリ 正税千百七十
二石津領ナリ今ノ豊原ノ旧ト一邑ニ又街道

ノ後世変メヨリ賑富ニナリタルナリ故ニ大
搦神社モ其地ニアリ今ハ豊原ヲ搦田ト私称
シ本邑ヲ大搦田ト私称ス

式内搦田神社 同処四丁許西田間ニアリ搦田
槻本社アリ乾位十丁 祭神大若子命 搦田

ノ名義旧ハ竹田ト名ク処ニシテ御搦落セシヨ
リ搦田ト名ク倭姫命ヨリ後ノ名ナリ故ニ奇
内親王伊勢ニ下向ノ群并ノ片大極殿ニテ天
皇自御搦ヲ奇王ニ賜ヒ再都ニ帰ルヲ勿レト
勅メ奇王ハ群行アリテ此搦田マテ下向ノ片
其御搦此川ニ捨サセ玉フ故変アリ是嚮ニ倭
姫命ノ御搦墜シ玉ヲ遺事ニヨレリト旧記ニ

所載ナリ此櫛ヲ別レノ櫛ト称ス
千首 師兼

本邦ノ俗夫妻ノ贈リ物ニ櫛ヲ送ラヌハ此縁
ナリ

名寄

旧ハ家集
出タリ

俊頼

名寄 君ク任むく川や流れる髪のおろろと打とけぬ

櫛田川 今ノ官道豊原ト早馬瀬ノ間ニ流ル春
冬ノ内ハ假橋ヲ架ス夏秋ノ間ハ舟涉ナリ本
州二三ノ洪河ナリ砂川ニメ 富石ナシ本邑ノ
坤位ヨリ東ニ流ル 水源ハ飯高郡高見嶺ヨ
リ流出テ多氣郡飯高郡ノ界ヲ經テ川俣川ト

称ス河俣七里ノ間ノ溪澗流合ノ鵜見天石丹
生及多氣郡飯高ノ間ニシテ津留村ニシテ津留
川ト称ス舟涉アリ本郡射和中万ニ至テ北東
ニテ一泓トナリ一ハ稻木川ト称シ稻木ニ至
リ舟涉アリ前野及藤原ニ到テ東海ニ入ル一
ハ安樂豊原櫛田ニ至テ櫛田川ト称シ七見及
松名瀬ニ至テ東海ニ入ル凡テ十七里許ノ長
流ナリ往昔ノ御道ハ今豊原ノ官道ヨリ五六
丁下流東ヲ涉リシナリ即今ノ大櫛田ノ地ナ
リ

清水 櫛田ノ東ニアリ長田郷ニ属ス 正税三
百九石津領ナリ 神鳳抄云長田郷四十六丁

五段三十歩和名類聚長田郷ナリ後世ノ流田
ノ郷ニ此地ヨリ朝田ニイタリ古ノ長田郷
ナリ長田ハ流田ノ轉ナリ

式内流田神社 同処伏拝ト云アリ方俗午頭

天王ト称ス生土神トス八王子トモ云祭神

未詳 立利村穴師社ヨリ十丁

流田^{ウツコ}社神社 同処流田神社ノ西ニ旧墟ニア

リ明曆中図ニモ載タリ祭神未詳

菅生^{スガウ} 清水ノ北ニアリ長田郷ニ属ス正税二百

九十石津領ナリ

立利 清水ノ乾位ニアリ長田郷ニ属ス正税

九百二十一石津領ナリ 属邑有田本邑ノ西

ニアリ

式内穴師神社 今俗同処ノ北田畔ノ間ニ杉社

ト称スアリ此ニ克ツ祭神穴織神^{ウツ}上七見

村奈々見神社ヨリ十三丁

和屋 立利ノ坤位ニアリ長田郷ニ属ス正税

八百七十一石津領ナリ 公羽塚ト云アリ

朝田 立利ノ乾位ニアリ長田郷ニ属ス正税

千四十九石紀州松坂領ナリ 神鳳抄云長田

郷四十六丁五段三十歩旧古流田郷ニ和名

抄ニ長田郷ニ作ル

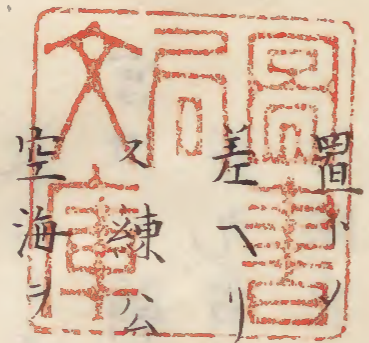
式内意非多神社 同処朝田寺ヨリ二丁坤位ニ

アリ旧谷森塚或天王塚ト云方俗ヲサ田ノ

社トス土ノ宮トモ稱ス 清水村流田社ヨリ
十町 祭神未詳 今詳ヲカニスルニ雜記所
載長田ノ郷ノ名ニ批テ忠宗カ冥ヲ祀レリト
云又土ノ饒ヲ献スルコトナリヨリ土ノ官ナ
トニ稱メ附會ノ妄誕ハ不足論トイハレ式内
崇祀ノ神社ヲ如斯兇賊ノ冥ニ汚蔑スルハ懼
ルニ足レリ

光福山朝田寺 同処ニアリ 天台宗 本尊地
藏尊半身枯木牡蛎殻ヲ着ケリ 本堂五間半四
面南向正面ニ石灯籠アリ 巽位ニ手水鉢坤位
井泉西ニ鎮守祠東ニ客殿庫裏廊下アリ寺傳
ノ縁起ハ畧ス 今註スルニ當寺開基行基僧

正或弘法大師トモ云統日本紀ヲ閱スルニ空
海誕生ハ行基辻化ヨリ廿五年後ナリ又延曆
十五年縁起ニヨレハ本尊彫刻ハ空海二十三
歳ノ時ニ行基開創ノ地ニ空海本尊ヲ所安



置書 宜也 古屋草紙ニ空海開山トスハ稍ク
差ヘリ 然レモ寺記ニ批レハ常宇ノ所有ニ非
又練公 長者ノ所創トヒント欲ス志ニ似タリ
空海ノ開山トスモ又稱ヘリ其故ハ雜記ニ光
福山朝田寺ノ号ハ空海ノ名ク処ナリ孰レ寺
記縁起ノ文ハ上世ノ所録其質ノ野ニミツヘ
シ朝田ノ名ハ後世ナリ然ルヲ空海ノ名クト
スルハ非ナリ又七月廿四日ヲ會式トスルハ

練公長者ノ枯木感得ノ日時ヲ用ルヘシ領主
ヨリ十石ノ免許地ナリ 因花万葉記ニモ昔
大師此処ヲ通ラセラレ鉞ヲ以テ作ラセ玉フ
潮ノ下ル間ニ出来玉フ故塩子ノ地藏トハ申
奉ル

宮田 朝田ノ北ニアリ 黒田郷ニ属ス 正税二
千九百石 紀州松坂領ナリ 今大宮田ト称ス
公牒ニ然リ 旧名ハ宮田井領ト称ス 永正年中
旧案アリコレ今ノ古井ノ旧名ニシテ旧ト宮
田ニ隸セル処ナルヘシ 属邑西野 本邑ノ
西ニアリ 今西野ト称ス 佐久目 今佐久米ト
轉ス 本邑ノ埤位ニアリ 古井 本邑ノ北ニ

アリ 明曆中國ハ各本邑ニ隸セリ 今ハ佐久米
西野古井トニ一村ノ別ニメ公牒等然リ 明曆
後ニ割分置ナルヘシ 各紀州領ナリ

西黒部 古井ノ北ニ海瀬ニアリ 黒田郷ニ属ス
松坂府ヨリ東一里 正税千百十石 紀州松坂
領ナリ 属邑四ツ屋 本邑ノ西ニアリ 高
洲 細屋 中村等アリ 湊口アリ 飯高郡河俣
溪谷ヨリ所出ノ材ヲ此地ニ河俣川ヲ流シ運
送メコレヨリ四方ニ鬻ク処ナリ 榑田川ノ下
流ニメ東海入ル処故ニ此運漕ノ便路ナリ 陸
ヨリ二町餘海中ニ大船ノカ、リアリ 食塩
ヲ焼テ出ス 方俗黒部塩ト賞ス 耕地 砂土ニ

シテ綿花ヲ多ク栽テ綿絮ノ出ス或ハ木綿ヲ
織リテ業トス屬邑高洲ノ地最勝レリト云高
洲綿ト称ス 神鳳抄云二宮黒部御厨四十三
石當時東七百西八百 今誓ルニ七百八百ノ
字解シ難シ疑ハ闕文錯字ナルヘシ 外宮神
領目錄云 黒部御厨三石内六月一石 九月一
石十二月一石

式内牟禮神社 同処ニアリ 祭神大中津日子
西命 朝田邑意非多神社ヨリ北ハ三十町本
邑ノ北ニ一社アリ 立舟明神ト額掲タリ産社
ナリ大槩前輩此社ニ詣メ足レリトス高六石
一斗領主免除ナリ

又村落ノ良位ニ牛頭天王社アリ

又本邑ノ北ニ山王権現祠アリ

西蓮寺 同処ニアリ 紀州領主ヨリ高二石免除
ナリ

松名瀬 西黒部ノ東ニアリ 黒田郷ニ屬ス 正

税三百十九石津領ナリ 屬邑向松名瀬本邑

ノ川西ニアリ 榊田川ノ下流ナリ 高橋ヲ架セ

リ西黒部ニ涉ル路ナリ 此下流往昔ハ今ノ向

松名瀬ヨリ西ニ流レテ西黒部ノ地界ヲ經テ

東海ニ入シカ洪水東ニ流レテ今ノ地勢トナ

シテ故ニ本邑ト向松名瀬ト此川ヲ隔テ居ス

ルナリ 其地ヲ方俗古河ト称ス西黒部ト同ク

村邑ニ塩竈アリ食塩ヲ出ス

久保 松名瀬ノ南ニアリ井手郷ニ属ス 正税

四百三十石津領ナリ 属邑新開今出屋敷ト

称ス本邑ノ川西ニアリ柳田川ノ末流ナリ

魚見 久保ノ南ニアリ井手郷ニ属ス松坂府ヨ

リ東二里 正税千五百七十五石津領ナリ

正名魚海ナリ 属邑川島本邑ノ良位ニアリ

新開本邑ノ東ニアリ 門前本邑ノ東ニアリ

新屋敷本邑ノ乾位掃田川ヲ隔テリ 神鳳抄

云内宮魚見東御園三斗五升九月内宮魚見新

御園二斗五升 神風徴古録云前御園ハ今ノ

川嶋ナリトス

式内魚海神社 北魚見川嶋邑ニアリ本郡井口

村麻統掾殿ヨリ十八丁 祭神一座豊玉彦命

豊玉姬命月讀命荒魂 西黒部邑ヨリ土手堤

ヲ登川橋ヲワタリ久保村ノ堤ノ上ニ登リ川

嶋邑ニイタル字ハ塩ツ、ミト云処ニ坐ス

垣内田邑須磨比賣社ヨリ坤位八丁

高德寺 川嶋ニアリ田司北畠政郷ノ建立ト云

今廢セリ

上七見 魚見ノ西ニアリ井手郷ニ属ス柳田川

ヲ隔テリ 正税八百七十一石津領ナリ 神

鳳抄云七見散在神符名田

式内奈奈見神社 同処良位二丁バカリニアリ

大方俗今社ト称ス 祭神未夕詳ナラズ 柳田
社ヨリ二十町

康平寺 同処ニアリ 寺傳云後冷泉天皇康平

年中奥州安倍貞任追討ノ調伏祈願所ナリト

云今絶ニ遺レリ

下七見 上奈奈見ノ北ニアリ 井手郷ニ属ス

正税六百四十石津領ナリ

六根 魚見ノ巽位ニアリ 井手郷ニ属ス 正税

四百八十六石津領ナリ 神鳳抄云外宮若菜

御厨八十五町二段三石 外宮神領目錄云若

菜御厨三石六月一石 九月十二月同ク 外宮

神領記云當時差定候調進七見村薺一籠魚見

邑菜二籠ト菜ト薺ト二品ナリ 神境ノ方俗モ

コレニ効テ此二菜ヲ戸々ニ正月七日朝粥ニ

奠テ食セリ 内裏ニ献スルハ今モ山城別寺

田村ヨリ七種ノ若菜ヲ献スルナリ

保津 六根ノ東ニアリ 井手郷ニ属ス 正税四

百廿七石津領ナリ 本邑ニ檜木笠ヲ造リ出

メ四方ニ鬻ク今尾張州ヨリ本曾山中ニ産業

トノ所造ノモノヲ多ク販ク

式内天香山神社 同処ニアリ 方俗耕作ノ官ト

称ス 服部麻乃方神社ヨリ南五町 祭神天ハ

千々姫命 志貴村佐貴栗柄社ヨリ本邑ニイ

タリ 産神ノ森ニ坐ス 暖太宇留布都社ヨリ

北へ五町

中河原 保津ノ南ニアリ 漕代郷ニ屬ス 稻木川
ト柳田川ノ下流ノ間ニ民居ス 故名ク 正税
百二石津領ナリ

井口 中河原ノ西ニアリ 井手郷冠邑ナリ 正
税二百二十五石津領ナリ

式内麻績神社 同処ニアリ 方俗上館ト称ス 又
麻績機殿或御機殿ト云 田圃ノ中ニ三町四方
森ニタル林中ニ坐ス 保津天香山社ヨリ十丁
許道傍ニ鳥居又杜ノ口ニ鳥居左ノ傍ニ領主
奉行ノ高札ヲ掲ク 其次ニ祠部家其次殿宇菅
萱ナリ 右ニ折テ鳥居一基左ニ斎館正面本社

鳥居瑞籬左右八幡春日二社瑞籬ノ中ニ并座
ス 左ノ傍ニ機織殿其左ニ寅社奏社小祠二宇
アリ 本社右傍雅産灵祠土官田宮三狐神小祠
四宇并立リ 神木椰木二因ナルアリ 祭神未
詳 例祭正月十六日 六月 同九月 同四月 十四
日ノ神衣祭ハ中世廢絶 元録年中一称亘荒木
田守洪再興シテ今ノ形ハカリノ祭奠ニ純メ
御衣ヲ織テ献スルナリ 今詮スルニ神服殿
ハ服村ニ在下載タルハ今ノ大垣内ノ旧名ニ
テ又麻績殿ハ井手ノ郷ニ在下載タルハ疑フ
クハ村ノ誤ニメ井手村ナルヲ今井口ト称ス
ナラニ郡名ノ差ハ例アリ 服部麻力方服部伊

刀麻ノ両社ニモアルヘシ又麻統ハ即麻統神
社ヲ填テ妨ナシ神名秘書雜例集所載ノ如シ
然ルニ機殿儀式帳ハ殘篇ノニニテ全篇ナシ
垂仁天皇ノ朝ニ飯野高宮ニ遷坐ノ時機殿ハ
長田郷ニ建テ麻統及河崎社ト称シ又後ニ岸
村ニ遷スハ岸ノ社ノ称アルニ批テ飯野郡阿
波曾村紀師神社ノ地トスイマダ諸家不称ト
イヘ凡コトニ標的ス 其所謂服部ハ和妙ノ
御衣麻統ハ荒妙ノ神衣也服ハ絹ヲ貴フ春冬
ノ服也夏秋ノ服也猶服部ノ地ハ服部麻刀方
ニシテ万葉集所詠ナリ其旧キヲ貴ヘリ故ニ
其旧址トシテ麻統ノ井口ハ後世ノ所置ノ地

ニメ明徴也 因云神祇令所載三河国赤引御
調系ハ遠州敷智郡岡本村ニ大神宮初生衣料
ノ神戸二十九石八斗ニ升慶長八年九月廿三
日ノ 台命ヨリ歴代今ニイタリテ御朱印
ヲ載此人假名ナク神目代トノニ称シ来レリ
享保七年三月七日祭主大中臣徳忠 造宮使
トメ下向ノ片大官司ニ淹留ノ間神目代參謁
メ代々ノ朱印證文等ヲ出シ假名ヲ乞フ因テ
以後ハ神目代主税ト名クヘキト徳忠ヨリ命
ス然ルニ赤引系ハ繭ノ系ト惟ハルニ洛東幼
阿遠江記ヲ看テ檢スルニ今ハ麻ヲ績テ布ヲ
織ルナリ幼河此地ニ到テ録セシナレハ妄ナ

ルニモ非ルナリ然シナカラ三河ト式ニ載セ
テ遠江ニ其地ノアルモ疑アレト世田郡ノ
差ハ多クアレハ万葉ノ例ニ倣フテ見解スヘ
シ又未引糸ノ考アレトモコ、ニ畧ス 今ノ
井口ノ地ハ兼暦年中宣旨ニ拠テ移シ造ル所
ナリ雜記所載ト其祠部麻統氏ノ傳ト年月ノ
差ヒアリ又神服機殿御政印麻統機殿御政印
何ノ時ヨリ居置レシ其微詳カナラス神服機
殿ハ紛失ノ嘉應年中造リ改トイフ丁神宮雜
例集ニ載タリ當社ノ古老樹ハ天正年中松坂
城經營ノ片蒲生氏命シテ伐ラシム故ニ下館
ヨリハ老樹スクナレ 宝永七年領主藤堂和

早泉寺其臣朱雀頼母須知彦之魚ニ命ノ二人ノ
連署ノ制札ヲ社域ニ建シメ又享保三年此二
氏封内ヲ巡檢スルニ後代社宇ノ断絶ヒシヲ
憂テ公候ニ白シ永代兩機殿ニ修理料新田三
十石ヲ寄ス兩神部左門久古右門久富ニ令セ
ラルヨリ今ニ至リテ然リ 隣北ノ村邑十六
郷ヲ方俗御系郷ト称スルハ神衣織作ノ奉獻
ノ名ニ拠シリ 西御機殿ノ事蹟ハ倭姫命世
記神宮雜例集延喜式大神神衣祭條延曆儀式
帳三代實録第七貞觀五年八月十九日條神名
秘書百鍊抄崇徳帝保延二年正月條神祇令神
宮雜事記天喜四歲九月條等ニ載タリ

高水 井口ノ坤位ニアリ漕代郷ニ属ス 正税
五百五十五石津領ナリ 此上世ノ街道ニ
櫛田ヨリ櫛田川ノ涉口ナリコレヨリ東ノ稻
木川ヲ涉リ多氣郡坂本ニイタリ奇宮ニ入ル
ノ順次ナリ 高水ニ三郷アリ 別所出屋敷
本里ナリ 本里ヨリ北ニ石田坪ト云処アリ
四地ナリ古昔大神宮へ櫛葉ヲ献セシト云今
ハ焼々併神宮ニ其所傳ナシ誓得カタシ
式内神垣神社 同公字出屋敷ニアリ方俗産社
ト称ス 祭神未タ詳ナラス 延喜式本郡四
坐ノ内ナリ
早馬瀬 高水ノ西今ノ官道櫛田河ノ東ノ水涯

漕代郷ニ属ス 正税二百三十石津
領ナリ 古昔ノ櫛田ヨリ街道ノ片馭馬ノ停
止スル処ニ奇内親王及公卿勅使倒幣使等
ノ櫛田ニ高水ニ歴玉ヲ片伊勢国司ノ祗兼
ヨリ大神宮檢非使ノ祗兼ノ辞ニ迎フ地ナレ
ハ傳馬ノ次カヘル処ニ其馭傳馬ヲ
置ク処ニモ瀬ハ河涯ノ謂ナルヘシ 馭傳馬
古典ニハイマト訓ス日本書紀延喜式等ニ出
イタリ令儀解職負令田凡給馭傳馬皆依鈴傳
符尅教事速者一日十馭以上事緩者八馭云々
言東鑑第十四建久五年十一月八日乙未早馬
上下向並御物匹者彼支配海道馭馭十宿分八

八人小宿介二人云云是日者雖被沙汰置之新
宿加之間皇及此儀云云十同弟五十弘長元年
二月廿五日丁巳海道驛馬御物送夫事御使上
下向每度依杞定數為土民及旅人愁之由頻達
上聽之間今日所仰六波羅也其狀云云
早馬事
宿之彼定置二足之処雖非急事近年連々下向
之輩或三四足或四五足申載著帳煩役所於路
次致狼藉之由有其聞尤不便也自今以後非殊
卒尔之事之外可任先例之狀依仰執達如件
文應二年二月廿五日 下畧
今詳ニスル早馬東鑑所載ニ分駟舎非

常卒急ノ用馬ニ早駟ノ馬ノ如レ駟馬ノ
ヲ謂ニアラス後世ハイマノ訓ヲ轉メ早駟ノ
事ニ庸ヒシナルヘシ然レトモ古訓ハ駟馬ニ
通メ称ス処ナリ

目田 早馬瀬ノ坤位ニアリ漕代郷ニ屬ス 正
税三百七石津領ナリ

横地 目田ノ坤位ニアリ漕代郷ニ屬ス 正税
四百四十五石鳥羽領ナリ菴藝郡同名アリ

伊勢場 横地ノ巽位ニアリ早馬瀬ヨリ九丁五
十間坤位ニアリ漕代郷ニ屬ス 正税三百

一石志州鳥羽領ナリ
稲木 早馬瀬ノ南ニアリ 正税七百六十五石

志州烏羽領ナリ 屬邑小稲木 本邑ノ西ニ
アリ 旅食貨茶店多シ 漕代郷ニ屬ス 神鳳抄
云中稲木御園内宮稲木神田一石二斗九十二
月又内宮池田神田一石九十二月日処摸池田
御園一斗

式内大櫛神社 同処官道ヨリ巽位叢林ノ間ニ
アリ 方俗竹塚ト称ス 祭神大稻與命

稲木川 稲木ト多氣郡金剛坂村ノ間官道ニ流
ル水源ハ飯高郡河俣谷ヨリ 出ル処櫛田川ト
同派ニメ本郡法田ニメ分流ス官道ヨリ高木
多氣郡坂本ノ間ヲ歴テ本郡中川原ノ東ヲ流
レ多氣郡ニ入テ前野藤原ニイタリ東海ニ入

ル今ノ官道ニメ舟漕アリ冬春ハ舟ヲ架メ假
橋トス方俗板川ト称ス例幣使ノ襟袴ノ地ナ
レハ名ク又旧名ハ磯部川ト称ス多氣郡ノ所
在ニメ上世竹連磯部直等カ所知ナレハ磯部
ハ此地ノ名ニシ地名ヲ冒メ川ニ名クルナリ
或櫛田川ヲ磯部川ト称スルハ非ナリ倭姫命
世紀云御櫛落給支其所乎櫛田止号此ニ拠テ
櫛田川ト称スルハ著明ナリ 又多氣川ト称
ス多氣ハ和名類聚多氣郡竹ト注スルカ如ク
多氣郡ニ所在ナレハ名ク及竹川ト称スルモ
同義ナリ今多氣郡竹川邑アリ此ト別ナリ然
レモ是モ多氣川ノ南厓ニアル処ノ邑村ナレ

ハ竹川ノ名モ此川ニ拠テ名ツクナルヘシ
延喜式云元祈年月次祭使参入者大神宮司ノ
卜部祇候多氣河解除_ヨ江次第云多氣河枝
大神宮司儲枝物又伊勢祇兼於下見橋退去渡
櫛田川大神宮檢違使可祇兼多氣川枝下樋小
河或云停鈴聲神領子因領之界也件河在奇宮
東 神宮雜例集云飯高郡下樋小河此祢神之
遠坂常入参大神宮馭使鈴口塞飯野郡碓部河
祢神近堺内宮延曆儀式帳モ曰文ナリ 又曰
長曆三年三月十三日宣旨偏二所大神宮祢宜
等自今以後不得入京若有背此旨之輩永停止
見任若有可訴事者權祢宜一人聽上道丁慶安

二年外宮引付日_{記旧}正祢宜越禁河_{今竹川不可}
他因上京但或依病氣致湯治或不得止之子細
於有之者縱雖有旧例自今以後者不触祭主而
他因上京坐可停止事 雜記所載 稻木ノ涉
ヨリ三丁許東ノ林中ニ社アリ伊勢祭主二宮
ヘ祭祀ニ罷リ侍ル時コニテ櫛枝ト云丁ア
リ櫛ハ山田因本ヨリ進献スル恒例ナリ名
所因會今ノ往来ヨリ北ニ古道アリ昔ヨリコ
ニ勅使ヲ迎ヘ奉リ枝ヲ修スル式アリ故ニ
枝戸ノ森ト云処モアリ今ハ宮川テ其式行ハ
ル奇宮群行ノ片モ前鎮ノ枝アリシナリ今
詳ニスルニ古昔ノ涉口ハ櫛田及高木ヨリ多

氣郡坂本ニ至ル古街道ニ今ノ官道ノ稲木
川涉ロヨリハ七町許東ヲ涉リシナリ其南ニ
林中ニ枝戸ノ森ト称スル処式文ノ如ク河禊
アルニヨリ雜例集及儀式帳ノ遠近ノ堺ヲ得
タルモ此多氣川ニ決スヘシ上世ハ此河及擲
田河等ニ公卿勅使例幣使ノ時ハ舟橋ヲ架セ
シニ神宮ヨリ修營ス旧式アリ今ハ公私領故
ニ神領ヨリカ、ル例モナシ故ニ今ハ此処ノ
禊事ヲ豊宮川ニメ修スルナリ然レハ豊宮川
ヲ神領田領ノ畧域トメ上世ノ下樋小川及多
氣川ノ遺例ニ劬テ禁河ト称メ正負ノ祿亘ノ
漫リニ他州ニ超ルヲ禁セリ雜記所載ノ祭

主枝禊ノ櫛ヲ進スト云ハ妄傳ナリ其徴ハ式
文ニ檢スルニシ猶旧古ノ街道今ト異ナルニ
拙リ多氣川下樋小川ノ名モ遺失スルニ至シ
リ又名所拾遺云幸橋 再并橋ト云幸橋説
々多シ古老傳ニ稻木川ノ東ニ枝川トテ祭使
参向ノ片此処ニテ枝アリ其東ニ土橋アリ是
ヲ再并橋ト云トリ

名寄

大宰大貳高遠

たのり記云云の如きなりはまのさいの橋と云ふ
神祇百首 元長

紀由章追考曰此哥ハ伊勢田ノ哥枕ニ再并橋

ヲ幸ノ橋ト詭タル姿ナリ凡テ倭哥ハヤワラ
カク假名ニ昏クナレハサハヒキハ幸ナルニヤ
侍ラニ今詳ニスルニ名所拾遺所載ノ駁雜
ノ説多シトスハ今ノ稻木ヨリ七丁許良位ニ
其板襖ノ旧址トスル板所ノ森ノ東ニ上世土
橋ヲ架セリソノ橋ヲ再拜橋或幸橋ト称スノ
旧説アリ其再拜ノ名ハ板襖ノ処ニ拠レリ又
幸ノ名ハ上件紀由章名所拾遺進考ノ如ク和
哥ニ言ノイヒカケナリ然レハ又一説アリ
飯高郡下樋小川橋モ再拜橋トイヘリ内外
宮諸社記云皇大神之宮所覓足幸坐時竹川止
云所尔川有利橋有利川橋古者大長加利毛

留尔今者川毛阿勢橋毛失只黒木打渡志天倭
姫命此橋尔互御禊坐毛留土曾其名下樋橋下
樋小河止云毛留乎再拜橋止云止曾其時倭姫
命天津宮事大神呪乎唱給比再拜八開乎有之
故名多利云云又此橋ノ杭古ク遺リタルヲ
削リテ小兒ノ夜啼ノ呪ニ用レハ験アリト云
所傳アリ然レハ今下樋小川ニモ上古ノ往還
モ絶テ其川ノ禊事モ廃シタルハソノ地ニ橋
ヲ架セルモナシ唯遺名ノニ存セルヲ此ニ標
出ス

雜記云竹川

哥枕

よこへん

竹川の橋ははりまゝの園又我とはあるせうかたへて
此歌やうせとりふとをうへとをく催馬樂ノ
呂歌ニウタフトナリ心ト曰シトイヘリ河内
田ニ同名アリ其竹川ヲ詠タルト梁塵秘抄藻
塩草等ニ謂ヘリサレト當田竹川ニ今ニノ絶
ケレ齊宮ノ座セシ昔ハ橋ニ有シト也其近キ
辺ニ今モ花園ト云処アリ皆土民ノ田地ニ耕
タレハ古ノ花園ノ跡ノシルシトテ椿ナト遺
シ置リサレハ竹川ノ橋ノ詰ナル花園ト詠セ
シハ此竹川ノヨク適ヒテオホヘケレハ古ノ
竹川ノ哥コトニ言傳ヘケルナラン
名寄

竹川やまのゆと見れぬと山田の京は去らるるなり
今誓フルニ名寄ニハ長明ノ詠トス追考ニハ
降心法師トス名所拾遺花園ノ旧址ハ齊宮ノ
北ニ古道ト俗称スルトコロアリ多氣川ノ南
涯ニハアラス稍ク隔テリ

名寄 源順

神代より色しからぬ竹河は世に成るるをかしく
以上三首ハ各本州ノ所在ノ竹川ヲ詠スナル
ヘレ後ノ二首ハ未詳

家集 み川系

あまの川は流るる河を竹川のちのみにくもあまの川に
夫木 定家

後より又流り来りてん竹川やいふ事も知らずなり
度會清在曰河禊ノ事久ク絶タルニ兼應二年
九月十四日例幣使参向ノ時橋村度會正満大
官司ノ卜部代トメ柳田川ノ枝勤仕セリ官川
ニハ亀田度會未之枝禊再興セリ今惟フニ多
氣川ニ非ス柳田川トスルハ式文ニ差タルニ
似リ名蹟聞書等ニモ載タリト件所載ノ竹川
ハ今ノ竹川村ノ事蹟ニ非ス故ニ此ニ標出ス
竹川ノ邑ハ後世所置ニシテ多氣郡ニ出ス其餘
ニ併杞音スヘシ

勢陽五鈴遺郷音飯野郡

全終

勢陽五鈴遺郷音飯高郡卷之一

飯高郡 飯高ト称スル名義ハ飯野ト同久旧ト
一郡ニ隸ルノ處ニシテ後ニ分置セルナリ倭姫
命世紀曰活目入彦五十枝弟天皇二十二年癸
丑冬十二月廿八日迁飯野高宮奉斎四箇年于
時飯高縣造袒乙加立知命汝田名何問給白久
意須比飯高田止白而進神田並神戸倭姫命飯
高志止白事貴止悦給支其意須比ト謂フハ古
事紀曰此八千矛神将婚高志田之沼河北賣幸
行之時到其沼河北賣之家哥曰夜知富許能
加徵能美許登波夜斯麻久尔都麻之岐加泥豆

登富斯故志能久近々佐加志賣遠何理登岐加
志互久波志賣遠何理登伎許志互佐用婆比尔
阿理多々斯用婆比迹何理加用婆勢多知賀遠
母伊麻陀登加受互游須比遠母伊麻陀登加泥
婆下畧曰中卷美夜受比賣歌云和賀祁勢流
意須比能須蕪爾曰下卷女鳥王歌曰婆夜夫
佐和氣能美游須比賀泥萬葉大伴坂上部女祭
神歌曰予弱女之押曰取懸外宮延曆儀式
帳曰大物忌无位神主固成女着明衣木綿手次
前坐懸天押日蒙洗手不干之白二所大神
乃朝大御饌夕大饌乎日别奇敬仕奉又延喜大
神宮式御装束中日帛意須比八條長二丈五尺

同度會宮御裝束中帛絹忌比四條各長二丈五
尺廣二幅又正中年中御饌記云綾忌比弘一幅
小記ス木居宜長曰其状ハ一幅三幅ニモアレ
最長キヲ後世人婦人ノ被着タルサマニ頭曰
リ被リテ左右ニ垂レ下ノ帶ノ辺ニテ取違ハ
テ腰ニ結ヒ前ニ廻メ結ヒ端ハ襷ハ垂ル、ナ
ルヘシ上代男女比ニ人ニ知レント面類ヲ覆
ヒ隠ス料ノ服トミヘタリ契冲曰意須比ハ結
緒ノ轉ナリトイフハ非ナリ然ルニ奈良朝廷
ノ比ハ男ノ着ル丁ハナク婦人ノ古ノ礼服ノ
如クナリテ祭祀ノ時モ着ケルナルヘシ有職
家ニカクシ衣ト称ス名アリ是上古ノ制ノ遺

名ナリ或説飯高田ノ冠辭ニ負セタルハ延暦
儀式帳ニ所載如ク押日蒙リテ大御饌ノ飯ヲ
高ク盛ナセルニ上古ノ遺習トシ飯ノ了ニ批
テ此郡ノ名トスト謂ヘリ案スルニ倭姫命世
紀ニ意須比飯高田トアルハ儀式帳ヨリ以前
ニノ食器ニ物ヲ盛ルヲ方俗奈曾布又意曾布
凡謂フ其謂ニテ意曾比タル飯高ト云意ナ
リ此ニ所謂ノ忍比ノ事ニハ非ス飯食ハ生命
ノ本基故ニ神世ヨリ物名ニ謹ソ負ス処多シ
莊子馬蹄篇曰赫昏氏之時民居不知所為行不
知所之含哺而熙鼓腹而遊又荒政要覽曰倉廩
實乃知礼節衣食足乃知榮辱礼生於有而廢於

無其其飯高ハ前漢書食貨志田卽貴氏賤ト謂
フ其糴フノ價ニ非ス生命ノ基タルヲ貴重ス
ルノ謂ナリ本郡ノ名コトニ批テ起レリト謂
ヘレ古事紀曰天押帶日子命御真津日子訶惠
志泥命即孝照天皇八子娶尾張連祖興津余曾
命之妹余曾多保比賣命所生御子天押帶日子
命者伊勢飯高若臺師若等祖續日本紀聖武天
皇天平十四年夏四月甲子飯高若臺目之親族
縣造等皆賜飯高若性 同十七年正月乙丑飯
高若臺目從五位下 同天平宝永四年春正月
乙卯高野天皇及帝登幸大師弟授飯高公臺目
正五位下賜倍從五位 已上錢 同五年六月己

卯正五位下飯高君笑因藏毘登於瀨美從五位
上同天平勝室四年十一月辛酉伊勢因飯高
郡人正八位上飯高君家繼等三人賜宿祢同
光仁天皇室龜元年十一月己未朔授從四位下
飯高宿祢諸高正四位下同六年夏四月丙子授
正四位下飯高宿祢諸高從三位同八年春正
月甲戌從三位飯高宿祢諸高年登八十勅賜絕
八十疋絲八十約調布八十端庸布八十端同
五月戊寅典侍飯高宿祢諸高薨伊勢因飯高郡
人也性甚廉謹志慕貞潔葬奈保山天皇御世直
內教坊遂補本邦采女飯高氏貢采女自此始歷
仕四代終始無失薨時八十同九年正月癸巳

右衛門士府生少初位上飯高公大人左五衛大
初位下飯高公諸九二人賜姓宿祢同天平十
年九月甲寅伊勢因飯高郡人九位伊勢因直族
大江授外從五位下同神護景雲元年十二月
丁亥伊勢因飯高郡漢人部乙理等三人賜姓氏
忌寸文德實錄卷四仁壽二年正月戊辰朔壬
午從四位下春澄宿祢為但馬守飯高朝臣永雄
為播磨介同正月甲午從七位上飯高朝臣在
世无位春原朝臣内子並授從五位下卷六齊
衡元年三月辛卯朔戊戌從五位下丹墀真人氏
永為諸陵双飯高朝臣永雄為刑部少輔三代
實錄卷七貞觀五年正月七日庚午授散位從五

位下飯高朝臣永雄從五位上 卷八齊衡三年
冬十月辛未朔辛卯從五位下飯高朝臣永雄為
主祝双 卷十天安二年三月壬戌朔丙寅囚獄
司正正六位上飯高朝臣氏文少令史從六位下
中臣習宜朝臣弘門等下刑官而斷其罪也 同
五月辛酉朔辛未飯高朝臣永雄為尾張守 三
代實錄弟八貞觀六年正月十六日癸卯散位從
五位上飯高朝臣永雄為丹波守 左弟廿三貞
觀十五年廿九日壬辰散位外從五位下飯高朝
臣貞宗披訴貞宗不可賜外階於是刊除外字改
賜從五位下告身 三代實錄卷廿四貞觀十五
年十二月壬辰越前因敦賀郡人右大史正六位

上伊部造豐持賜姓飯高朝臣即改本居貫左京
五條三坊其先出自孝照天皇皇子天足彦因押
人命也 多氣螢窗曰むらゝ飯高武藏掾とい
ひ武士を名を志なとりの邊念れきれものをな
まそれり子大帝志郷といひけりもの廣新り
集此序をきくもそ又云所是從四位上伊勢の
大江の裔也正ハ之別第一之鴻名云々 大江り
子いま、洋々ありし姓氏り記くもその少も
之を以て官かきしに大江氏を多也 今註ス
ルニ天平十年九月伊勢直族大江ノ事蹟続日
本記ニ載タリ 神鳳抄云飯高郡神戸百九十
三丁三段御神酒三並長筵二十四枚祭料並造

酒米十八石三斗懸刀稻四十束端裏蓮十四枚
長蓮六枚年魚郡所當御神酒米一石蓮六枚御
給米廿七石一斗在糧料八石異本四十石二斗
祭料並造酒米十八石云云 類聚和名抄第六
飯高郡上牧加無都比良 下牧 丹生 尔布
英太 河加多 立野 多千乃 馭家 神戸 上
牧 今牧三郷ト称メ上牧下牧中牧アリ牧ノ
字麻伎ト訓ス後世ノ轉ナリ多氣郡ニ隸レリ
丹生即丹生村アリ 英太縣ナリ今河形ニ
轉セリ 立野立野村アリ 馭家ハ上世ノ飯
高馭ニメ今石津村ナリ一志ノ馭ヨリ脊宮ニ
イタルノ順次ナリ神戸ハ今下村ニメ其隣比

ニ大邑ノ屬郷アリ本郡畧域ハ東ハ海瀨ヲ限
リ西ハ大倭州宇陀吉野ニ郡ヲ限リ南ハ飯野
多氣渡會ニ郡ヲ限リ北ハ一志郡ニ限レリ
本州疆域行程 本郡舟戸ヨリ大和州吉野郡
杉谷村ハ一里二丁五十六間紀州和州ノ街道
ニメ高見越ト称ス高見嶺堀切アリ二州ノ堺
ナリ又鳥居アリ船戸ヨリ三十三丁十八間又
杉谷ト船戸ノ間鬼木茶屋ヨリ二丁六間ニ一
里塚アリ又舟戸ヨリ和州宇陀郡檜卷村ハ一
里十二丁乾位ニ山路アリ又本郡多罗木ヨリ
和州宇陀郡土屋原村ハ一里三十一丁十八間
溪澗四十一處難嶮牛馬不通歩荷ハ稍夕通ス

本郡波瀬村ヨリ大和州宇陀郡土屋原村へ二里十丁十八間難處牛馬不通又本郡月出ヨリ和州宇陀郡上村へ一里廿七丁五十四間及和州宇陀郡大森へ一里二十四丁五十一間嶮路曲賜ノ地九十九ヶ処アリ其徑ヲ經ルニ艱苦甚夕忽白頭ト變スルカ如シ故ニ方俗白髮越ト称ス雜記所載シカラシ越ト云ハ非ナリ享誕カ凌雲ノ額ヲ享ストト曰譚ナリ又本郡富永ヨリ和州宇陀郡神未村ノ内松谷へ二里廿七町三十間牛馬不通又本郡赤原ヨリ和州宇陀郡菅野村ノ内大森へ二里三町五十間嶮路牛馬不通ナリ神鳳抄云飯高郡一丁字ハ河良

水神田勢海神夏料所 神鳳抄所載有名未識
神封戸 内宮牟右山神田 同源田御園 内
長峯 有重神田 二宮光用 内宮
薦御厨 深田新御園 内宮大矢御厨 同高
志御園 同若松 同堤御園 同久米
、宗重神田 芝井御厨 真良 外宮
梅田御園 光用名忠越御園 内宮松山御厨
岩藏御厨 倉田 櫛比 河南河
北 野田玉垣荒田 近吉御園 本忠光
忠光名 光吉 忠越新光吉 春光新光吉
永萬御厨 正延永方 藥丸得光名 得重
春丸岡田得光 久富名 永重 成忠 犬

丸 光富 成清 荒田河原 豊富安富 武
田友武 忠近 清成 瀧藏御園 宮野開田
清松田 外宮忠近御園 比那田 外宮
臼井御厨同園 白加志 平田御園 酒
木 入江 富基 塚 松
尾 位田 内宮上津原 神戶
名田 守忠 成忠 武清 永平 大丸次男
名 得光 福富 武本童子丸 同園童子丸
信田童子丸 秋尊寺返童子丸 童子丸次男
牟山神田 吉永 本福延 福永 五覺院
安樂寺 梶社 久富 延吉 餘戶寺
外宮神領目錄所載未識封戸 外宮領光用御

厨三石 六月一石後同前 梅田 一石五斗
六月五斗後同前 白井 同上 忠近御園
三石内六九十二一石宛 松山御厨六石此外
於上分三石 境御園九斗 深田御園三斗
松尾御園五斗 福末神田 上分三石 位田
御園 永用神田一丁二反
村邑 文祿三年檢地六十八村 正保二年百
二十八村 明曆二年雜記所載百十二村 外
小邑四村 元祿十三年百十四村 今計百八
村 外小邑七十四村 合百八十二村 松坂
府城町一處
正税高 文祿三年檢地三万八千七百九十七

石五斗六升三合 雜記所載四方三千七百四
十八石七斗三升三合 内三万二百一石四斗
四升一合 田方 一万三千五百四十七石二
斗八升八合 畠方 外四千百三石四斗七升
八合 新田 元禄十三年四万六千四百八十
六石七升七合

船戸 本郡西ノ極界ニアリ大和州吉野郡界ナ
リ正税二十三石紀州松坂領ナリ属邑ニ鬼木
茶屋高見嶺ノ中ニアリ 八木カ谷高見嶺
ノ麓ニアリ本邑ノ西ナリ 所傳云鬼木ノ称
ハ往昔此茶店ノ建ルトテ巨樹ノ槐一株ヲ用

テ全材ニ剪採リ所建ナリ故ニ槐ノ字ヲ分テ
鬼木ト称ス名アリト口碑ニ謂ヘリ

高見嶺 本邑ヨリ大和州吉野郡竜門庄杉谷村
ニ至ル比嶺ノ南ヲ經テ和州ニ入ル街道也山
阪ノ中間ニ鳥居アリ船戸ヨリ嶺ニ至リ廿三
丁本州和州二国ノ界ナリ高見嶺越リ称ス松
坂府城ヨリ国界堀切マテ十四里廿六丁四十
八間アリ 古屋双紙及拾遺等旧名去来見山
引万葉石山大臣歌曰 吾妹子訶去来見能山
乃高見訶毛日本能不所見国遠可聞故ニ後世
高見ト称ス此證ナリトス 今註スルニ吉野
郡ニ行駕在レ南朝ノ帝朝ヨリ伊勢神宮及本

州ノ因司等ニ勅使及軍役ノ往還ハ此路ナル
ヘシ故ニ今モ本郡ニシテ大道ナリ然ルニ前説
ハ石上大臣ノ大和州ノ都ヨリ伊勢ニイタル
ノ時古郷ノ妻ヲ愛慕シテ詠ル処ナレハ此嶺ノ
所名トスルハ恐ク堯明ニ似テ臆断ナリ吉野
帝朝ヨリハ孰レ上世添上下及西郷ニ及テ帝
域ノ時ハ凡テ伊賀州ニイタリ本州一志郡一
志取等ニ至リ今ノ阿波越ナリト謂ヘシ此嶺
經テ到ルハ甚迂遠ナリ猶万葉第一ノ題辞曰
日本紀曰朱鳥六年壬辰春三月丙寅朔戊辰以
淨廣肆廣瀨王等為留守官於是中納言三輪朝
臣高市麻呂脱其冠位攀上於朝皇諫曰農作之

籛車駕未可以動辛未天皇不從諫遂幸伊勢五
月乙丑朔庚午御河胡行宮石上大臣從駕作歌
吾妹子乎去來見乃山乎高三香乞日本能不所
見因遠見可聞此時持統天皇大和州藤原宮ヨ
リ伊勢ニ行幸ノ時從駕ノ時ノ歌ナリ藤原旧
址ハ今高市郡大原村ニアリ然レハ伊賀州ニ
イタルヲ近シトス又此高見山ハ和州吉野郡
小川庄平野村ノ東ニ聳レテ旧名高角山ト称ス
天狗巖獅子岩及冠巖等ノ奇巖此嶺ノ南ニア
リ又延喜式内高角神社山嶺ニ坐今ノ高見明
神是ナリ故ニ高角山ト称ス俗説ニ蘓我入鹿
臣ヲ祭ル云ハ非ナリ然ルニ高見ハ俗称ニ

シテ本州西南ノ高嶽ヨリ和州ヲ眺望スルノ
謂ニメ名久処ナルハ之後ノ哥ハ伊勢名所拾
遺ニ載ス夫ハ山ノ高嶽ニ出合ハ高嶽
夫木 高嶽ノ高嶽ニ出合ハ高嶽
新六帖 高嶽ノ高嶽ニ出合ハ高嶽
紀由章名所拾遺追考云万葉考曰イサミノ山
テフハレヲスニ式ニ伊勢国多氣郡伊佐和神
社志摩国荅志郡伊佐婆神社ナト云モアレハ
此国ノ中ニ伊佐美ノ山テフモ有ハレニヤ
猶山ヲ雀衣着猶ノ山ト云類ニテ佐美ノ山テ

ヲ有ルニイサミト謂カクシニヤト云云 誓
ルニ真洲万葉考ヲ引テ未其徴ヲ得ス又臆断
ナリ伊佐和神社ハ射和村伊佐波神社ハ志州
磯部村ニアリ此ニ社ノ地ニ高嶽ナレ右ノ大
臣ノ所咏ニ非ルハ必ヒリ或曰日本ハ大和ナ
リ其高嶽ニメ和州ノ藤原ノ地ノ千里ノ目ヲ
窮ルニ能サルヲ比スル故ニ志州及紀州行幸
時ナレハ日本紀ニ批テ英虞ノ地ナルヘシト
云又鑿說ナリ今ノ高見嶺ハ高角山ニメ去来
見山ニハ非ス去来ハ陶潛カ歸去来辭ニ去来
ヲイサト訓シイザ歸リナレト叙ス如シ大和
州ヨリ伊賀ニ到リ旅情ニ旧都ヲ去来ニ見ル

ノ謂ニノ敢テ去来山ト名ク処アルニ非ルヘ
シ然レモ実ニ其山伊賀ニ到ルノ間ニ所在ヤ
未詳トイヘモ此地ニ非ルハ必セリ他ノ贅ヲ
容ルニ及ハス説高見加毛或ハ御阿胡行宮從
駕作歌ノ辭ニ從ヒテ異説ヲ設タルナリ其地
ニ跋陟ノ其真ヲ得ヘレ帟土ノ空譚ニハ其徵
ヲ得ルコト難シ神宮雜事記云延久元七月一
日乙丑月廿日始彼下直旨於大神宮司天阿俣
山仁追討使等差遺天伊賀伊勢志摩大和紀伊
田等乃要害等令問天彼山乃惡人散信為房
同近助同宗近朝臣及各等男女子共被追討已
了但同年九月三日始同廿三日戮了天進宮了

大將軍左衛門從三位下源朝臣家宗件判官從
大和因入件山副將軍前駿河守平惟盛朝臣自
伊勢因飯高郡入件山平前司隨兵三千余也於
步兵者不知其類也依件支天大神司被下宣下
已及五箇度也是為令支神郡之要害也今詳ニ
スルニ此嶽ハ本州大和因吉野郡ノ疆界ニメ
此ヨリ東方本州ニ屬スル地波瀨村ヲ始トメ
本粥見村ニイタリ行程七里ノ間ヲ方俗川俣谷
藥ト称ス川俣ノ名ハ川俣川ニ側テ居スルニ拠
レリ雜支記ニ所載ハ上古ヨリノ名称ナリ推
知ヘシ

青田又并戸ノ異位ニテ了正稅百四十三石紀州

青松坂領ナリ森ノ郷ニ属ス

盛田寺 同処ニアリ高二石八斗二升六合紀州

領主ヨリ免除ナリ

藥師寺 同処ニアリ高二斗一升八合上ニ付シ

木梳 青田ノ南ニアリ正税十七石紀州松坂領

ナリ木梳ノ名義ハ舟戸ニ對ス名ナルヘシ

雲林寺 同処ニアリ高一斗三升八合紀州領主

ヨリ免除ナリ

朝見嶺及因見嶺 大和州界高見嶺ノ南ニ聳タ

リ本邑及蓮村ノ山上ニアリ

草鹿野 舟戸ノ良位ニアリ正税廿六石紀州松

坂領ナリ

多良 草鹿野良位ニアリ正税三十石紀州松

坂領ナリ

峯城旧址 同処山趾ニアリ天正年中程セ

リ波瀬ノ條ニ詳ニス

初谷 木梳ノ東ニアリ正税 紀州松坂

領ナリ

落方 舟戸ノ東街道ニ民居正税三十六石紀

州松坂領ナリ舟戸ヨリ隔見ニイタルノ間凡

七里河俣谷及河俣街道ニ称ス紀州大和州ノ

通路ナリ東ノ入口ニ一里塚ハ釜谷ニアリ大

橋ヨリ一丁二十一間ニテ各属邑コトモ平瀬

...

波瀨 落方ノ東ニアリ百八十六石紀州松坂領
ナリ波瀨一志郡内名アリ方俗河俣波瀨ト称
ス一志郡東北ノ波瀨ト分別メ称セリ一里塚
字ハ作リ道ニアリ白髮越ノ卷ヨリ六町四十
三間
天開山泰運寺 波瀨ノ内口窄谷ニアリ、觀音院
ト称ス本尊觀世音禪宗院内ニ鐘樓アリ八角
トノ鐘ヲ揚ク八方ニ八大竜五ヲ画キ彫シ大衆
妙典法華經一部八卷三万九千三百八十餘字
峯ヲ四方ノ鐘面ニ鑄セリ奇異ノ梵鐘ナリ然レ
凡八角ナルカ故ニ其韻ハ甚温雅ナラス
波瀨城址 草同処ニアリ 伊勢兵乱記白田司具教

卿ノ舍弟南都東門院當家ノ一族滅亡ヲ聞大
ニ憤リ密ニ南都ヲ落伊賀国ニ越シ長木吉原
某ヲ憑シ還俗ノ北畠具親ト号シ其後三瀬河
俣多氣ノ諸士ニ謀テ義兵ヲ举ントス三瀬谷
ニハ粟谷唐櫃某等河俣谷ニ波瀨峯乙栗栖某
等悉ク一味ス小倭谷ハ一族七人衆味方トナ
リ河俣谷ハ東門院ノ領知ナレハ波瀨峯等是
ヲ迎ヘテ森ノ城ニ入レ奉リ峯森鳥屋尾家城
等守護ス織田家退治ノ為三瀬ヲ森清十郎ニ
給ハリ河俣ヲ日置大膳ニ給リ坂内ヲ足助ト
兵衛ニ給ハリ小倭ヲ澁川三郎兵衛尉ニ拓植
三郎左工門尉長野左京等ニ給ハリ何レモ命

ノ此城ヲ攻シム天正五年春河俣谷滝野有馬
野鉄中ト云フ処ニ砦ヲ造リ因中ニ歩出ニト
スル故ニ信雄滝川三郎兵工尉池尻平左工門
尉天野佐九工門尉田丸中務少輔日置大膳亮
等ニ是ヲ攻シム其後和睦ノ開城ノ退ク又滝
野山寄城ヲ攻ム日置次大夫智謀ヲ以テ終ニ
城ヲ拔ク諸軍皆信雄ニ屬ストイハトモ河俣
谷波瀬峯以下諸士五十餘人一味ノ二心ナク
其親ヲ守護ス是ニ拠テ日置大膳兄弟朝暮挑
ニ戦次大夫岡伽桶九曲ノ兩城ヲ攻落ス其後
秋山沢芳野本多左京亮三瀬左京森清十郎勢
日置次大夫ニ加ハリテ波瀬峯ノ城ヲ攻ム精

力尽テ峯氏生害ス同舎弟乙粟栖生虜トナル
故ニ落城ス此寄手ニ此時丹江ノ森菊右衛門
以下戦死ス其後日置カ勢烏屋尾右近カ城ヲ
破リ森城ヲ落ス城主具親中因ニ下向ノ毛利
家ヲ憑ニテ備後因鞆津ニ住セリ森落城ノ片
家城主水佐河俣山ニ退ク追討使秋山右近カ
士上津郷新坊山中ニ討取レリ此故日置大
膳河俣谷ヲ盡ク退治メ城ヲ七日市ニ築キテ
是ヲ守ル元來東門院領ニシテ此処半分ハ大和
因ノ内ナレバ日置武功ヲ以テ從ヘシ故今伊
勢ノ分領トス詳ニ雜記ニノセタリ其餘諸城
ノ旧址ハ後號其邑ノ條ニ贅ス

素原 波瀬ノ異位ニアリ 正税八十九石紀州松

坂領ナリ

素原寺 同処ニアリ 高四斗八升紀州領主ヨリ

免除ナリ

八幡祠 同処ニアリ 高六升四合目上

月出 素原ノ北ニアリ 正税八十七石紀州松坂

領ナリ

加波 素原ノ異位ニアリ 正税八十九石紀州松

坂領ナリ 高見街道ナリ 加波ト七日市ノ間大

定峠ノ坂路アリ 歩越十七丁廿五間嶮岨ナリ

一里塚本邑ノ東乙栗栖属邑紙屋ノ邑中ヨリ

東八丁二十一間ニアリ

乙栗栖

加波ノ河南ニアリ 正税二百五十五石

紀州松坂領ナリ 属邑世木本邑ノ北加波ノ東

ニアリ 向加波本邑ノ西ニアリ 街道ノ南河向

ニ在故ニ名ク

乙栗栖若 同処ニアリ 天正四年北畠具親河俣

入 挙兵ノ時乙栗栖平八郎属又同五年多罗木峰

城ニ挑戦ス 舍兄峯某坐害ス 日置次大夫カ為

同ニ虜トナル 此時ヨリ 廃絶ス 乙栗栖平八郎真

善院名録ニ載タリ 今居宅ノ旧墟及歴代墳墓

存セリ

蓮村 枋谷ノ異位ニアリ 正税四十石紀州松坂

領ナリ 森郷ノ内ナリ

蓮生寺 同処ニアリ高八升四合領主ヨリ免除

猿山 蓮村ノ東ニアリ正税二十五石紀州松坂

領ナリ森ノ内ナリ

圓照寺 同処ニアリ曹洞宗高一石六斗四合領

大俣 猿山ノ東ニアリ正税百廿七石紀州松坂

領ナリ森ノ内ニ隸ス大俣ノ名義ハ深野家野

ノ間ニ溪川アリ高見嶺ヨリ出ル処ノ河俣川

ト故ニ河俣トメ大河ニ合スノ後身以テ名少

ナルハレ

東漸寺 同処ニ在リ曹洞禅宗高五斗三升四合

大領主ヨリ免除ナリ

福泉寺 同処ニアリ高一斗九升二合四上

塩ヶ瀬 大俣ノ河南ニアリ正税四十七石紀州

松坂領ナリ森ノ内ニ隸ス塩ヶ瀬名称ハ大河

ノ傍ニ往昔海潮ノサス処アリ石擲ヲ構テ方

俗温泉ノ如ク入浴ス疵瘕及脚ニ投テ療ス今

其地理レテ祭ス既ニ奥州大塩村ノ所産如ク

ノ山中ニ塩ヲ生スニ曰シ塩泉トイヘ凡実ハ

東海ヲ隔丁十八九里ニ及ヘリ何ソ海潮ノ脉

ヲ通スルノ理遠キニ似タリ疑クハ磐石ノ氣

ナルヘシ然レモ其地瘠埋メ試丁能ハス故其

真ヲ得難シ孰シ塩ヶ瀬ノ名ハ工ニ起レリ

久谷 塩ヶ瀬ノ東ニアリ 正税

紀州松

坂領ナリ 森ノ内ニ隸ス

家野 大俣ノ東ニアリ 正税六十石 紀州松坂領

ナリ 森ノ内ニ隸ス 北畠家臣家野権右工門尉
住ス 真善院名録ニ載タリ

柏野 久谷ノ東ニアリ 正税四十四石 紀州松坂
領ナリ

深野 家野ノ東ニアリ 正税百三十一石 紀州松

坂領ナリ 森郷ノ内ニ隸ス 本郡同名アリ

加福院 同処ニアリ 高ニ石一斗一升二合 同上

天神祠 同処ニアリ 高八升四合 同上

犬飼 家野ノ北ニアリ 正税百三十七石 紀州松

十坂領ナリ 森ノ内ニ隸ス 高八斗四合 同上

雲林院 同処ニアリ 曹洞禅宗 高八斗一升八合

紀州領主ヨリ 免除ナリ 高八斗一升八合

森城旧墟 同処山上ニアリ 天正五年北畠源具

親ヲ老臣鳥屋尾右近将監家木主水佐等扶起

メ 義兵ヲ挙ルノ時 所築ノ本城ナリ 此辺森ノ

郷ト称スルニ 松ヲ森城ト号ス 猶河俣谷ノ南

都東門院旧領タルカ故ニ 此ニ所築ナリ 伊勢

軍記ニ詳ナリ 前荒波瀬條ニ併摺ヘシ 故ニ

谷野 深野ノ異位ニアリ 正税百五十一石 紀州

松坂領ナリ 属邑平瀬アリ 高八斗八合 紀州領主

長樂寺 同処ニアリ 高ニ斗八升八合 紀州領主

身ヨリ免除ナリ

七日市 加波ノ巽位河俣街道ノ傍ニ民居ス取

舎旅賃食店アリ正税四百五十七石紀州松坂

領ナリ属邑掠原本邑北ニアリ一里塚村邑

ノ中ニアリ本陳ヨリ二丁四十三間ニ置ク

東谷寺 同処ニアリ紀州領主ヨリ高七斗六升

六合免除ナリ

法専寺 同処ニアリ東本願寺派専念宗本尊河

森弥陀佛高一石一斗四升領主ヨリ免除ナリ

碧雲院 同処ニアリ高一石四斗八合同上

地藏堂 同処ニアリ高五斗二升八合同上

十五堂 同処ニアリ高一石八斗四合同上

天神祠 同処ニアリ高八斗日ト

七日市城 旧墟 同処南ノ山上ニアリ麓ニ河俣

川流ル追午ノ要害ナリ天正四丙子日置大膳

亮北畠具親敗績ノ後河俣谷ヲ戦功ニ拠テ織

田信雄ヨリ給テ此地ニ始テ城壘ヲ築テ居セ

リ河俣及三瀬谷大和州等ヲ鎮護スル為ニ置

ク前號波瀬條ニ詳ニロリ今其宿駅ノ分野ヲ

掠スルニ谿澗ノ間ニ狭小ナリトイヘトモ

城壘ハ南ノ山上ニ在テ其麓ノ大道ニ民屋ヲ

其列ニ東西ノ口ハ稍ク凸ニメ坊間ノ如ク所謂

城府ト謂ヘキノ設ノ形アリ今河俣街道聚舎

茶鄧多シ

枋川 七日市ノ河南ニアリ 正税百九十石 紀州
松坂領ナリ 本郡同谷アリ 方俗上枋川ト称ス
長昌寺 同処ニアリ 高一石五斗九升二合 領主
ヨリ免除ナリ

枋河城址 同処ニアリ 天正五年北畠家臣鳥屋
尾右近将監所置ナリ 富永城ノ詰城ニ築ク
富永 七日市ノ東ニアリ 街道ニ民居ス 正税二
百五十石 紀州松坂領ナリ 属邑築瀬 本邑ノ河
南ニアリ 福本 本邑ノ乾位ニアリ 七日市 富永
ノ間河俣川ヲ涉テ枋河ニイタリ 多氣郡 栗谷
呉苻山ハ往路アリ 枋河谷ヨリ 栗谷ノ内湯谷
ハ三十丁十六間左傍ニ一里塚アリ

直心寺 同処ニアリ 高一石三斗四合 領主ヨリ
免除ナリ

福泉寺 同処ニアリ 一石六斗六合 同上
阿弥陀堂 同処ニアリ 高二斗 同上
福本城址 福本ニアリ 鳥屋尾右近将監 天正五

年所居ナリ
栗野 富永ノ東ニアリ 街道ニ民居ス 正税三百
廿六石 紀州松坂領ナリ 属邑 向栗野 本邑ノ
河南ニアリ ケワラ 子ノソヒ 九曲 本
邑ノ東ニアリ 子ノソヒ 方俗上 栗野ト称ス
本邑ノ西ニアリ 一里塚上 栗野 高橋ヨリ 七丁
十五間 東ニアリ 字ハ 大鶴ト称ス 処ナリ 栗野

度會郡同名アリ

仙瑞寺 上栗野ニアリ高九斗二合領主ヨリ免

除ナリ

退藏院 下栗野ニアリ高一斗八升同上

薬師堂 上栗野ニアリ高九斗九升二合同上

栗野九曲城址 下栗野東ノ口ヲ九曲ト称ス巽

位河俣川ノ岸ニ傍ノ山上ニアリ字ハ城山ト

称ス平坦ノ郭及堀切ノ趾アリ今八幡宮ヲ祠

レリ峻坦絶壁ノ要害ノ地ナリ北畠家臣栗野

半六郎真善院名録ニ載タリ

田引 栗野ノ東ニアリ街道ニ民居ス旅食貨店

アリ正税二百九十石紀州松坂領ナリ属邑口

野小田アリ多氣郡粟谷へ徑路アリ田引越ト

称ス一里塚満橋ニアリ北畠属臣田引正六郎

住ス真善院名録ニ載タリ北畠信雄河俣軍ノ

時捕虜ニメ誅ス伊勢軍記ニ詳ナリ

禅深寺 同処ニアリ高一石二斗八升四合領主

ヨリ免除ナリ

赤桶 田引ノ東ニアリ街道ニ民居ス正税三百

三十石紀州松坂領ナリ属邑 向赤桶本邑ノ

南河俣川ノ向ニアリ右粟子谷出アリ旧名関

伽桶今訛テ阿加宇ト称ス一里塚本邑ノ東宇

ハ工ガント口礫岩ノ橋ヨリ六丁四十五間ニ

アリ礫岩橋ハ方俗逆橋ト称ス

關伽桶旧址 本邑ヨリ一丁許一志郡舟生俣嶂
路越ニ至ル徑路ノ右ノ山上ニアリ城山ト称
ス北畠家臣關伽桶普四郎住ス真善院名祿ニ
載タリ俗傳城主佐々木彈正ト称スハ非也
心光寺 同処ニアリ高一石一斗四升領主ヨリ
免除ナリ
西岸寺 同処ニアリ高一石三斗四升領主ヨリ
免除ナリ
赤池 赤桶ノ巽位ニアリ正稅六十五石紀州松
坂領ナリ旧名關伽池ナリ今赤桶ト曰ク轉セ
リ
作滝 赤桶ノ巽位ニアリ河俣川ヲ隔テ正稅

八十四石 紀州松坂領ナリ作滝ノ名義ハ河俣
川遡流ノ破裂ニ瀑布ナリト云々名ナルヘシ
式外滝野神社 同処ニアリ村邑ノ西字ハ飯野
藪ト称ス林叢ノ中ニアリ紀州領主ヨリ高四
石四斗七升四合公牒作滝大明神ト載タリ神
主滝本奎之允今左門ト称ス 勢陽俚諺曰延
喜式神名帳大神神社祭神ニ座乙加豆知命天
照大神又号作滝大神宮 傳云八花形之神鏡
者天照大神之御靈形倭姫命奉齊祭也宝龜本
紀云於磯宮以天富命裔等鑄造神鏡ナルヘシ
金鈴者倭姫命尔乙加豆知命授之喜賜天以為
宝給而後勝長是乎乙加豆知命之靈形止奉齊

云云倭姬世紀曰伊勢加佐波夜之國波有美宮
所利止見定給比自天上志天投降坐比支金鈴
尔天坐也垂仁天皇御宇佐古久志呂宇治五十
鈴之河上御鎮座之初覓御宮所給之時於當
所乙加豆知命大神奉迎獻神田神戶旧箇年奉
寄進跡也其苗裔勝長貢枹粟御綿于時大神喜
給而自今以後汝守此境勿怠此調止御神勅有
之自然以來粟柿御貢當社御厨而三日三夜致
調備古今無怠慢奉調進内宮諸祭之御饌料而
每御厨之度令供進之天下國家之祭事被勒仕
者也神鳳抄曰澆野御厨綿二十兩菓子御贄
在之河北河南六丁倭姬命世紀云垂仁天皇廿

二年癸丑冬遷飯野高宮四箇年奉齊于時飯高
縣造祖乙加豆知命汝國名何問賜白久意須
比飯高因止白而進神田並神戶支倭姬命飯高
志止白事貴止喜賜比支内宮儀式帳曰飯高縣
造乙加豆知命汝國名何問給支白久忍飯高因
止白支即神田並神戶進支而飯野高宮坐支神
宮雜事曰遠江因濱名神戶一宿御坐時因造進
濱名神戶從是等因更還天御坐伊勢因飯高郡
御坐三月後度會郡宇治鄉五十鈴之河頭亦進
祭近幸要畧曰垂仁天皇廿二年癸丑冬十二月
廿八日飯高高宮奉齊于時造進飯野神戶當
社大神宮或神明宮亦奉祢儿處寬文六年正

月内宮長官氏當指曰一依以滝野社ト称シ奉
ルナリ古来ハ飯高宮ト唱ケル當社ノ神職ハ
乙加豆知命ノ裔ニ於今連続セリ飯高神主
滝本奎之允ト称ス勢陽雜記曰飯野高宮ハ
即神山ナリ今飯野郡中万村ノ東神山ノ巽ニ
鑰取大明神ト山添明神ト称スル社アリテチ
木經木モ内宮ノ制ニ從ヒ村民皇大神宮ノ行
宮ナリト云又飯高郡下村ニアル神館ノ宮ヲ
飯野高宮ナリト云ヘリ右諸書ニアリ然レモ
度會清在曰飯野郡河俣郷作滝村ニ滝野神社
アリ其祠部滝野奎允福勝ハ乙加豆知命ノ後
胤ナリ七代ノ祖虎造大夫勝頭ト云者應仁ノ

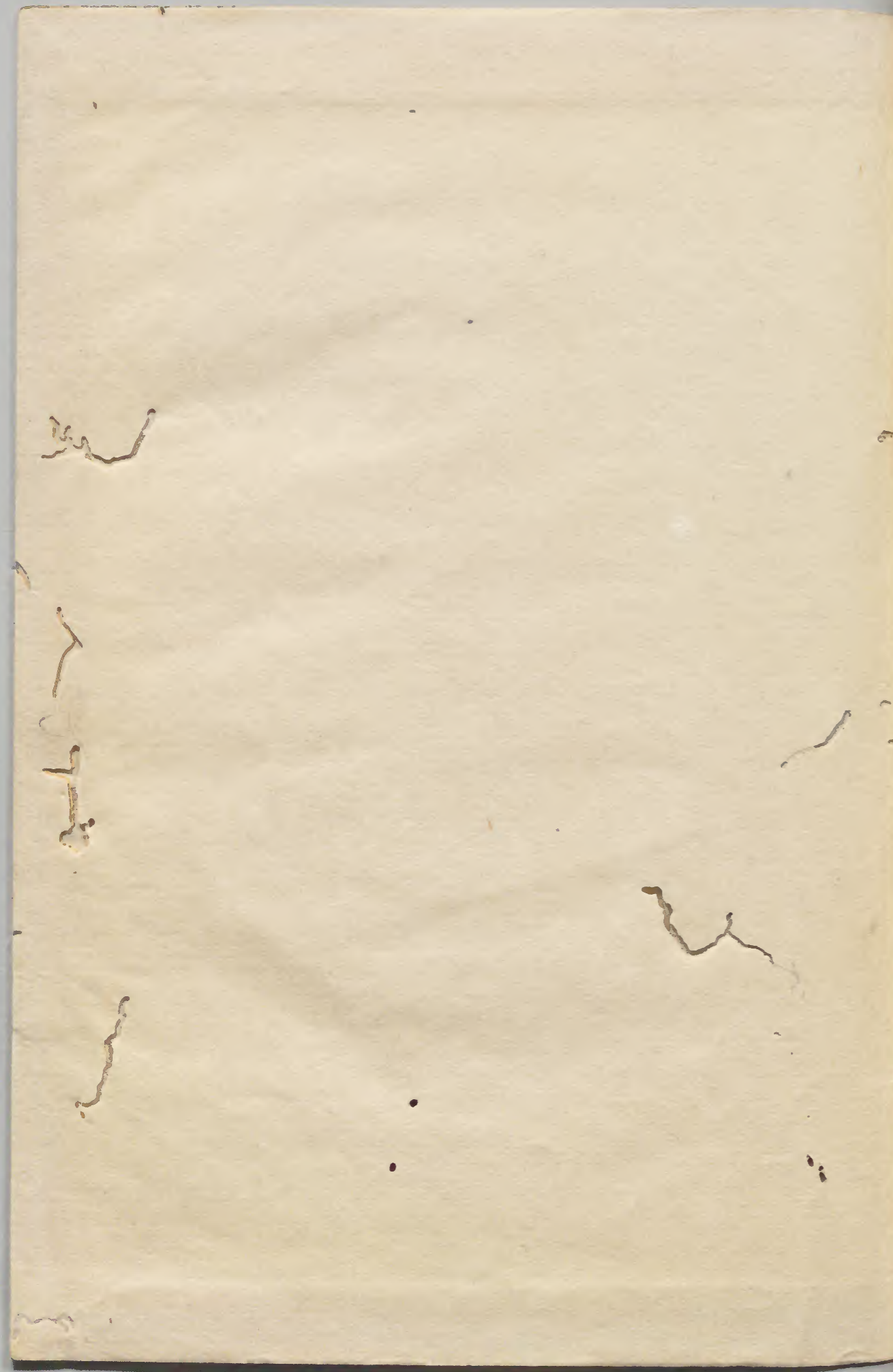
亂ニ戦死ス系圖ノ録並旧記紛失スト云世紀
ニ出タル飯野高宮ハ此作滝ノ社ニテ飯野高
宮ハ飯高文字ノ誤ナリ此社古ヨリ大神宮ノ
行宮ナリト傳ヘ祀ル処ノ神ニ坐アリ雲形ハ
八花形鏡ト鈴ナリ鏡ハ大神ノ靈鈴ハ乙加豆
知命ノ靈トス按スルニ是妄ナリト云ヘカラ
ス元々集飯野ト云ハルハ是世紀ノ誤ニ從フ
モノナリ勢陽雜記ニ謂ヘルモ飯野郡中ニ神
山ト云ユ由テ求テ是ナリトスル者ナリ鑰取
大明神社ヲ古ヨリ高宮ト称スル俗傳ナレ且
勢陽雜記ノ一書吾神宮ノ事實ヲ記シタルハ
違多キニ由テ觀ルハ信スルニ不足書ナル

月明ナリ又飯高縣造穀逆ル者ハ飯高郡ナル
 八キ一證ナリ又作滝神社ニ属メ公税ヲ免ス
 田地アリテ古ヨリ今ニ至マテ内官神嘗祭日
 ニ毎年粟柿ノ調物ヲ献シ畠勝自是ヲ持参ス
 是此時神田神戸ノ遺事ナルニキ一證ナリ然
 無シ畠勝カ家六代々内宮ノ廳宣ヲ蒙テ神役
 職掌ヲ帯タリ云云 神鳳抄曰滝野御厨綿二
 十西菓子御贄在之河北河南六丁
 勢陽五鈴遺響飯高郡卷之一終



紙数五拾五枚

47



勢陽五於遠聲日飯高都



是此時由神... 無與明神... 十兩葉... 勢陽五於遠聲日飯高都



